

○ 食を通じたコミュニケーションの確保

○ 体験を通じた食への理解促進

○ 食文化の理解と継承



## 2 食を通じて豊かな心を育むために

家族や友人と食事を楽しむなど、食を通じて互いの心に触れ合うとともに、子どもから大人まで動植物の命をいただくことへの感謝の念を深めるなど、食を通じて豊かな人間性を養うことが大切です。

このため、家族や友人と楽しみながら食事をとることなど「食を通じたコミュニケーションの確保」、家庭での料理や作物栽培体験、都市と農村の交流など「体験を通じた食の理解促進」、郷土料理や伝統料理などの食文化の継承など「食文化の理解と継承」について取り組みます。

### (1) 食を通じたコミュニケーションの確保

家庭、学校、職場などで、会話をしながら楽しく食べることなどコミュニケーションをとりながらの食事は、心のいやし・心の安定をもたらします。このために、家族や友人と食事をとることなどの啓発活動に取り組みます。

#### “おうちでごはんの日”（仮称）の設定と普及 **家** **学** **職** **地**

「食育の日」にあわせて、毎月19日を“おうちでごはんの日”（仮称）として設定し、家族や友人と一緒にきちんとした食事をとることを普及啓発します。

#### 給食を通じたコミュニケーションの促進 **学**

給食を通じて、子どもたちがみんなで食事をする楽しさやいろいろな物を食べる喜びを実感するようにします。

#### 企業の社員に対する食育活動の促進 **職**

定時に退社することを勧め、家庭でごはんを食べることなど職場における食育を推進するため、啓発ポスターの配布や社員への食育啓発活動に取り組んでいる優良企業の表彰などを行います。

#### \*食育の日

国の食育推進基本計画で食育推進運動を継続的に展開し、食育の一層の定着を図るため、毎月19日と定められました。

## (2) 体験を通じた食の理解促進

作物の栽培や料理の体験を通じて、会話が生まれ、感動につながるとともに、農林水産物の生産現場や加工食品の製造工程などを知ることにより、食べ物をより身近に感じることが出来ます。

体験に勝る食育はありません。家庭、学校等、地域において、作物の栽培や料理の体験などの推進や必要な情報の提供等を行います。

### 家庭における料理や作物栽培体験の推進 **家**

子どもが家族のために簡単な料理を作ったり、後片付けを手伝うなど家庭で料理をすることの必要性を啓発します。

また、バケツを利用した米づくりやプランターを使った野菜づくりなど、家庭での手軽な作物栽培についての取組を進めます。

### 学校等における食に関する体験等の充実 **学**

子どもたちが、保育所・幼稚園・学校等において、自分たちで栽培・収穫した農産物を調理して食べるなどにより、農産物を身近に感じることが出来る教育・保育活動を充実します。

また、小中学生については、自分で給食の献立を考える「学校給食調理コンクール」を開催します。

このほか、教職員を対象にした学校菜園づくりのための研修や園児・小学生等を対象とした農業ふれあい研修の実施、県職員が講師となった農業や家畜等への理解を促す活動を充実します。

### 都市農村交流や農林漁業体験に関する情報提供等 **地**

農山漁村に関する様々な情報を蓄積し、都市と農山漁村との交流を促進するためのモデルルートの開発などを行います。

また、食品製造企業の生産現場や卸売市場の見学の受入に関する情報の発信、農林漁業体験や農林漁業関係施設の見学を計画的に行うカリキュラムを作成し、その普及を図るなど農林漁業体験を行うための地域での受入について支援します。

### 食に関する体験活動の充実 **地**

食の生産から加工、販売までを学ぶ「食の探索体験ツアー」、農林漁業の体験や地域の食を堪能する交流ルートを活用し、親子を対象とした「農と食のものづくり探検隊」(仮称)の実施、「酪農教育ファーム」における牧場体験や見学など食に関する体験活動を充実します。



#### \*酪農教育ファーム

酪農体験を通して、食といのちの学びを支援することを目的として、酪農や農業、自然環境、自然との共存関係を学ぶことができる(社)中央酪農会議が認定した牧場や農場のことです。



### 農業高校生や農業者による体験指導活動の支援 **学 地**

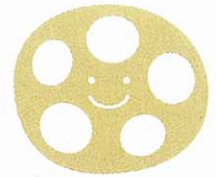
農業高校の生徒、農業後継者の集まりである4Hクラブ\*員や農業者が指導者となり、地域の園児や小中学生等を対象に行う農業体験活動等を支援します。



#### \*4Hクラブ

概ね30歳以下の農業青年の集まりで、農業の知識、技術及び経営能力の向上や仲間づくりなどの活動を行っています。

「4H」とは、Head、Hands、Heart、Healthの頭文字。



## (3) 食文化の理解と継承

各地域にみられる伝統料理などの食文化は、その地域の自然環境とのかかわりの中で、長い間に培われてきたかけがえのない財産です。この食文化への理解を促進し、継承するための取組を推進します。

### 給食における地場産物や郷土料理等の導入促進 **学**

給食における県内産農林水産物の活用を推進するため、「食育の日」を中心にして“愛知を食べる学校給食キャンペーン”（仮称）を実施するとともに、学校給食関係者と生産者等との意見交換会を行います。

また、給食の献立に郷土料理を取り入れることにより、地域に伝わる食文化に触れる機会をつくれます。

### 社員食堂等における郷土料理等の提供促進 **職**

社員食堂の関係者に対する愛知県の郷土料理や行事食等に関する情報を提供することなどにより、社員食堂における郷土料理などを取り入れた食事メニューの提供を促進します。

### 伝統料理等の継承 **家 地**

愛知の伝統料理や伝統的な作物等のデータを収集し、それらをPRするとともに、管理栄養士・栄養士や食生活改善推進員、愛知県食育推進ボランティアが行う料理教室等において伝統料理等を取り入れるなどの取組を進めます。

また、イベント等において、愛知の伝統料理などの食文化を紹介したり、体験できる機会を設けます。